



2022年7月13日

各 位

会社名 株式会社学情
代表者名 代表取締役社長 中井 大志
(コード番号 2301 東証プライム市場)
問合せ先 管理部ゼネラルマネージャー 野嶋 稔彦
(TEL. 03-3593-1500)

各社の採用意欲の高まりにより、求人情報掲載の引き合いが増大。 6月の受注高は前年同月比165.0%となりました。

Webメディアを軸に新卒・20代の採用を支援する株式会社学情（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：中井大志）は、2022年6月の受注高が前年同月比165.0%となりましたので、お知らせいたします。企業の採用意欲が高まり、求人掲載の引き合いは高止まりを続けています。

受注高が対前年比で大きく伸びていることは、採用マーケットが急回復していることの表れだと言えます。企業の採用ニーズが拡大し、採用難易度が高くなっている、足元の人材採用環境を直接反映しています。

新卒採用市場では、早期から動いていた学生に内々定が集中し、5月・6月に内々定辞退が相次ぎました。想定していた内々定承諾を確保できず、追加施策を検討する企業が多い傾向です。また政府の方針により、2025年卒採用から、一定の条件下で「インターンシップと採用の連携」が認められることも影響し、インターンシップ企画の受注も好調に推移しています。

中途採用市場では、夏の賞与時期を迎え、例年でも人材の流動性が高まる時期です。大手企業が第二新卒採用を実施するなど、中長期的な成長を見据えた中途採用も拡大の傾向です。

当社はコロナ禍で、就職・転職、採用を取り巻く環境が大きく変化したことを受け、「Web合同企業セミナー」や、デジタルでリアル（企業の雰囲気や社員の声）を届ける採用動画「JobTube」など、3年間で20以上の新サービスを展開してきました。サービスを拡充したことで、企業に提供できる選択肢（ソリューション）が拡大しています。採用難易度が高まっていることを受け、企業は、母集団形成や応募者の志望意欲の醸成において「新しい施策」を求めています。「学生や20代求職者に、より自社の魅力を伝える施策」を検討する企業に、既存の基幹Webメディアだけでなく、少人数制のイベントや動画など、企業の課題に応じたソリューションを提供できていることが、受注高の伸びに繋がっていると分析しています。

【メディア別受注高の状況】

- ・Re就活の受注高は前年同月比153.1%。
- ・あさがくナビの受注高は前年同月比128.3%。
- ・就職博の受注高は前年同月比528.9%。

※主要メディア全般で受注高は前年同月を上回っております。

今後も、各企業の採用ニーズは拡大すると想定されます。学生・20代転職希望者が情報収集しやすく、企業が自社にマッチする人材に効果的に情報発信できるサービスを拡充していきます。学生・20代転職希望者の価値あるマッチングの実現することで、ユーザーと導入企業をさらに増加させ、企業価値の向上を図ってまいります。

■株式会社学情とは

東証プライム上場・経団連加盟企業。法人株主として朝日新聞社・大手金融機関が資本出資。18年前から、「20代通年採用」を提唱。会員数40万名の「ダイレクトリクルーティングサイト会員数2年連続No.1・就職情報サイト〈あさがくナビ（朝日学情ナビ）〉」や、会員数180万名の「20代が選ぶ、20代向け転職サイト3年連続No.1・20代専門転職サイト〈Re就活〉」を軸に、業界で唯一20代の採用をトータルにサポートする大手総合就職・転職情報会社です。2021年11月に創業45周年を迎えました。

また日本で初めて「合同企業セミナー〈就職博〉」を開催して以降、合同企業セミナーのトップランナーとして、年間延べ来場学生20万名以上の日本最大級の「合同企業セミナー〈就職博〉」や、20代動員数No.1の「20代・30代対象の合同企業セミナー〈転職博〉」を運営。2019年には外国人材の就職・採用支援サービス「Japan Jobs」を立ち上げるなど、若手人材の採用に関する多様なサービスを展開しています。

[創業/1976年 資本金/15億円 加盟団体/一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 全国求人情報協会]

<https://company.gakujo.ne.jp>